

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

まっくろくろすけの出てくる家

記事

公開日: 2009/07/21 18:33

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

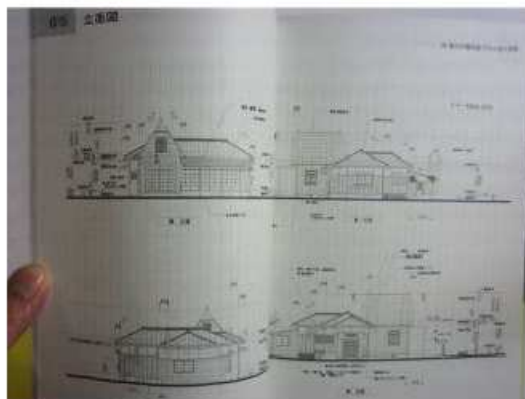
[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



となりのトトロに出てくる、サツキとメイの家の建て方が書かれた本を手に入れました。わーいヽ(*´▽`*)

この本を知ったのは、“木だわり塾”を行っている“久万高原 木と住まいの相談窓口”の事務所“E Wティンバーハウス”を訪問したとき、事務所の中に立てかけていたのを見たのがきっかけです。

それから、この本をインターネットで注文したんですが、なんと廃盤になっていて、現在は在庫のみということ。か——Σ(´Д`|||)——ン!!

あれこれ探して、1か月以上かかってやっと手に入れることができました。

これはレアです(-ω☆)bキラーン

お気に入りに追加



この本の中には、実際に建築ができるように、図面が載っています。平面図や立面図のほかに、基礎図や床伏図など、専門的な図面までそろっています。

そして、建築中の写真まで載っています。

“サツキとメイの家”を建てたい訳じゃなくて、あの懐かしいノスタルジックな雰囲気を感じられる空間づくりのポイントに興味がありました。

この家を、松山市の住宅地に建てても、あの雰囲気を感じることはできません。空間をつくるときに、どんなことを考えないといけないのか、そういうことの勉強になるかなと思いました。

»トラックバック(0)一覧

デイトレード株・225の手法

デイトレ入門 初心者の方へ！ 定石の 手法を真剣に学びたい方はこちらへ
www.1advantage.info

急騰・暴落銘柄の見分け方

プロトレーダーが明かす売買シグナル ローリスクハイリターン
の運用法
www.kabugain.com/

Ads by Google

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

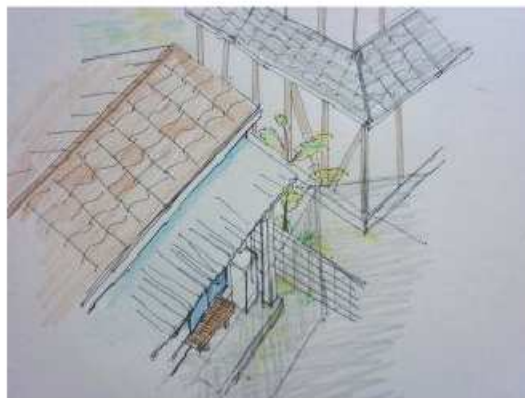
[»2009年06月](#)

記事

贅沢な暮らし

記事

公開日: 2009/07/22 20:30



今朝は、昨日の大雨も上がって午後からは晴れるという天気予報だったので、溜まっていた洗濯をしました。

ムシムシとした湿気と、庭の土の匂いがします。
そこに洗い終えた洗濯物の洗剤の匂いがほんのり広がります。

隣のお屋敷の庭樹には、まだ雨のしずくがたくさんついています。
蝉の鳴き声が一斉にしています。
夏です。

家の中も掃除機をかけました。
台所の換気扇を回すと、窓から家の中に風が流れ込んできます。
午前中は、これで十分涼しく過ごせます。

ひとまず家事を終えて、読書やら書き物やらを始めます。
まるで、隠居部屋とか書斎に籠った作家先生のような気分です。

こここのところ、こういう生活の毎日です。
なんて贅沢な暮らし((uDu*)クソッ
こんな暮らしをしていていいのか悪いのか、いろんな事をもちろん考えます。
でも、そういうのは全部置いて、喫茶去で。(^-^)

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

建築家の倫理

記事

公開日: 2009/07/23 20:10



書籍“建築家の原点”を読んでいます。

建築家とは何か
建築家として生きる為に必要なもの
建築士と建築家の違いは

そういうことが勉強できる一冊です。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

愛媛の林業情報サイト

記事

公開日: 2009/07/25 15:28



ここ1,2ヶ月の間に、愛媛県の林業・久万高原町の林業についていろいろと勉強することができました。

そのきっかけが、“久万高原 木と住まいの相談窓口”が行っている“木だわり塾”です。

私の場合、木造についてより知識を深めようと勉強しているうちに、木造よりもまず木のことを知っておかないといけないし、自分が住んでいる愛媛県産の木のことを知っておかないといけないと思いました。((uDu*)クソ)

住宅設計を仕事としている私が、こんな状況なので、家を建てようと思っているお客さんは、もっと知らないはずですよ。

一般の人のところまで、情報が届かないんですよ…残念です。

o(+ε+o)

この頃は、インターネットという便利な道具が普及して、すぐに情報を探して手に入れることができるようになりました。

で、愛媛の林業のことをインターネットで調べてみると、たくさんのホームページが見つかります。なんか、あちこちで愛媛県の林業を活性化しようと活動しているようですが、数が多すぎます。個々が活動するよりも、団結して大きな活動にした方がいいと思うんですが、しがらみとかがあつて難しいんでしょうね。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

とりあえず、個人的にいいと思うホームページを寄り集めてみました。
(・Ω・)ノ
参考にしてみてください。

愛媛県森林組合連合会

<http://www.aimori.jp/>

・愛媛県内の木材市場の様子紹介(愛媛県には、これだけ木材市場があるんですね)

愛媛県木材利用相談センター

<http://www.ehimewoodpage.com/index2.htm>

・県産材利用推進・・・補助金制度の紹介等
・愛媛ブランド材の運用
・愛媛県木材市場情報資料

愛媛の林業(愛媛県 農林水産部 森林局 林業政策課)

<http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/080ringyou/00001461021016/index.h>

・愛媛県はひのきの素材生産量日本一です。
・愛媛県の林業の取り組み状況について

久万林業活性化センター

http://www.kumakogen.jp/modules/ringyo/index.php?content_id=21

・木材の産地を守り、活性化していく取り組み状況がわかります。

久万高原 木と住まいの相談窓口

<http://www.kinikodawari.net/>

・地産地消の家づくりを広める為の活動を実施中
・一般の方に木のことを知っていただく活動を実施中

»トラックバック(0)一覧

ブログ内検索(b^-)

検索

1000万円 注文住宅

低予算でこだわり実現!施工例が満載 全国のハウスメーカー・工務店を探す
iezukuri.homes.co.jp

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

設計-施工業者が生残る方法

100名超のお客さんを営業マンなしで 集める方法を無料で
お伝え中です
wee-box.com

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



Ads by Google

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

木で家をつくる良さとは、いい家とは

記事

公開日: 2009/07/25 15:29

先日、木だわり塾“林業体験ツアー”に参加して、“木で家をつくる良さって何だろう？いい家って何だろう？”ということを考えさせられました。

今日はそのことについて考えてみました。

木だわり塾に参加されていた方々が、「この杉はいいね」とか「こんな木で建てたらいい家になるよ」とかしきりに言われていました。

林業の説明をしてくださった方も、「久万の杉は上品だから、化粧材に使うといい」と言っていました。でも上品さで言うなら檜の方が、木目が柔らかくていいと思います。杉は木目が濃くて、荒々しい強さのようなものを感じるの、上品とはちょっと違うような・・・、そう個人的には思います。

“いい”という価値観には、人それぞれあって、コレと一言に決められないところがあります。だから、みなさんが言ういい家とは、何を持っていていいと言っているのかが、曖昧な感じがします。

今ではなかなか手に入らなくなってきた、大きな断面寸法の木材。小屋組みをそういう大きな断面寸法の木材で造って、天井を張らずに見せて使う家。それを見ただけで、その存在感に心を打たれます。すごいな～と、ぼかんと口を開けて魅了されます。

その感情というのはなんでしょう？贅沢感というような雰囲気に対する感情だと思います。

あれこれ書きましたが、木には構造材としての強さと、意匠材・化粧材としての雰囲気の種類二種類の価値観が存在していると思います。

いい家、木で家をつくる良さは、この二種類の価値観で評価されていると思います。

ですので、耐震性や建物の強さに価値観を置く人にとっては、木の木目とか肌ざわりとか、存在感のようなものよりも、数字で強度が確認できる方がいいのかもしれませんが。意匠性に価値観を置く人によっては、木の存在感や節のあるなし、色合いや雰囲気や、木組みの技術に良さを感じるでしょうから、集成材とか金物をいいとは思わないでしょう。

又、今ではなかなか手に入らない希少価値に満足感を感じる人もあると思います。

それらを同じ天秤で量ることはできません。

何を“いい”とするのかで、建物のデザインは大きく変わります。

そんな価値観を、設計者があまり強く持ちすぎると、偏ったデザインになります。

家を建てるお客さんも、「他の人がいいと言っているからいいんだ」と思うと、後悔することになるかもしれません。あの人がいいと言っていたのは、自分の心から思っていることなのか、他の人が言っているからそうだと思こんでいるのか、どっちなのでしょう。

いい家って何なのか、はっきり言い切ることができませんが、逆にいうと、木で家をつくることはいろんなことを兼ね備えることができるとも言えます。

構造性も意匠性も、どちらも持っているものです。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

そういう意味で、昔の日本建築は、木組みに構造上の強さと意匠性の両方を求めました。たくさんある継手や仕口は、それを追及していった証です。無駄が無く、合理的で、すっきりしたものは美しいということです。そして、日本の気候風土を考えて、石じゃなくて木の建物を造り続けました。

木で家をつくる良さは、木でつくるから良い家になるんじゃないじゃなくて、木の良さを生かしてつくれた時、いい家になるんだと思います。

今の家の建て方が、木の良さを生かしていると言えるんでしょうか？

壁の中に木を隠してしまうこと、釘や金物だけで固めた家をつくること、なんかあまり木の良さを生かしていない気がします。

いい家とは何か、素材ありき、デザインありきじゃなくて、いい家をつくる為に素材を選ぶ、デザインを考える。そのためには、どういふことを家に求めるかをしっかり考えないといけないし、ひとつの価値観だけに偏ってはいいい家にはならないと思います。

木で家をつくる良さとは、いい家とは、その自分なりの答えが、薄っぺらいものじゃなくて、深みがあるものにする為にも、いろんなことを知って勉強しないといけないと思います。

»トラックバック(0)一覧

YouTubeにはGoogle Chrome

そのさらに速くなったスピードで YouTubeをより快適に使えます
google.co.jp/chrome

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら 驚くほど簡単に動画を保存できます。
jp.real.com

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

羨ましいです。

記事

公開日: 2009/07/25 15:30

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



テレビ番組“渡辺篤史の建物探訪”今回は、鎌倉の別荘でした。

側に鉄道が走る山林の中に建つ建物です。

そのデザインは、たくさんの木の柱を見せて、まるで林の中にいるような雰囲気を作り出していました。

私が設計したいと思っている雰囲気に近いものが、ここに実現されていました。

設計された方、羨ましいなあ。

別荘と言うだけあって、かなりデザイン重視な設計を感じました。

設計の批評は控えさせていただいて、

自分が思い描いた空間、パースや動画でのイメージだけだった空間、それが実際に造られたら、こんなふうになるのかということが確かめられて、やっぱりいいなあと思いました。

»トラックバック(0)一覧

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

変身ベルトが!!!

記事

公開日: 2009/07/25 15:35



最近、座卓の上のパソコンに向かってしていると、何かお腹のあたりに邪魔するものがあります。ナンジャコリヤ? (´д`)
手で摘まんでみると、変身ベルト(謎)が装着されていました。Σ(´□`|||)

脂肪でできた変身ベルト(謎)。

ショッカーに改造されたようです。(TwTHH)ショック
仮面ライダーメタボマン(謎)に変身です。=(;Д;::)⇒グサツ!!
＼(＼o-)へん(-o/)＼シツ!! 〆(0¥0)/トウ!!

脳みそを使うと、エネルギー消費量が多いので、学者の先生とかは痩せた人が多いそうです。
私は全身体力や筋力は使わないんですが、それでも痩せ型なのは、脳みそを使う仕事だからだ
という人もいます。(胃腸が弱いとか胃下垂ってのもあると思いますが。)
それが近頃は脳みそも使わなくなったせいか、急速にメタボ化が進行しています。
(((;Д;::)))カカカカカカカカカカカ

こりゃ大変だ。変身ベルトはなかなか取れないですからねえ... ~ o(+ε+o)

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

世紀の一大イベント

記事

公開日: 2009/08/01 00:00
最終更新日: 2009/08/02 09:36

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



今日は、世紀のイベント”八幡浜市立日土小学校保存改修改築工事完成記念 現地見学会と記念講演会”が行われたので、行ってきました。
 (日土小学校のことは、ブログの中で何度も書いているので、その凄さをご存じのことと思いますので、今日は説明は省きます。)
 建築界でも一大イベントだと思いますし、私の人生の中でも一大イベントです。

第1部 現地見学会
 会場：八幡浜市立日土小学校
 時間：9:00~12:00

第2部 記念講演会
 会場：八幡浜市文化会館「ゆめみかん」サブホール
 時間：13:00~16:30

内容
 ・竣工セレモニー DOCOMOMO 20選選定記念プレートの授与

お気に入りに追加



- ・基調講演「文化財の継承:石と木 戦前と戦後」
鈴木博之(東京大学名誉教授)
- ・パネルディスカッション「文化財として使い続ける」
パネラー
 曲田清維(愛媛大学教授)
 花田佳明(神戸芸術工科大学教授)
 (建築家:松村正恒研究第一人者)
 和田耕一(和田建築設計工房主宰)
 (日土小学校既存部分改修設計)
 武智和臣(アトリエA&A主宰)
 (日土小学校増築部分設計)
 腰原幹雄(東京大学准教授)
 (日土小学校構造計算)
 佐藤孝浩(東京大学)
 (日土小学校構造計算)
 吉村彰(東京電機大学教授)
 (教育環境計画)
 梶本教仁(八幡浜市教育委員会)

行ってよかったです。とてもたくさんの収穫がありました。
+.:.'\'(´▽`.)/.:.'+`

記念講演会の後、パネルディスカッションを行ったパネラーの方々を交えた、会食パーティが行われました。

パーティのことが告げられたのは記念講演会中のことで、全然予定していませんでした。これは参加しておかなければと思い、会費2000円を払ってパーティ会場に乗り込みました。

パーティは、18:30までサブホールの隣の部屋で行われました。乗り込んだのはいいものの、建築家協会四国支部とか、愛媛県建築士会とか、愛媛県建築士事務所協会の偉い方ばかりでした。オトオ!(・o・ノ)ノ

そんな年配の方々の中に、ぽつんと紛れ込んだ形になり、かなり場違いな感じになりました。(;´_`A アセアセ...

とても自力では会食の輪の中に入れそうもありませんでしたが、幸いお師匠がいたので、声をかけて話したり、紹介していただいたりしました。(;~`~)> フゥ

かなり肩が凝りましたし、食事に手をつけることもできず、ウーロン茶ばかり飲んでいました(汗)でも、楽に2000円の元は取れるほどの収穫がありました。~(^o^)/

今日のたくさんの収穫は、とても一日じゃ書ききれませんので、日を改めてということで。

»トラックバック(0)一覧

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

世紀の一大イベント(2)「増築部分のデザイン」

記事

公開日: 2009/08/03 14:23



2009.8.1 世紀のイベント”八幡浜市立日土小学校保存改修改築工事完成記念 現地見学会と記念講演会”が行われたので、行ってきました。

その中でたくさんの収穫を得ることができたんですが、その一つを書いておきます。

「増築部分のデザインについて」

2009.7.3に、お師匠のお誘いで、工事中の日土小学校を見学することができました。そのとき、新しく増築された建物について、こんな印象を持ちました。(ちなみに、増築部分の設計はお師匠ではなく、別の建築家の方によるものです。)

増築部分は、既存部分とは統一性の無いデザインで、しいて言えば「今風」の建物という印象です。

全面ガラス張りのデザインで、構造は集成材で造られています。

木造モダニズムとして評価が高い既存部分に対して、そのデザインを尊重して全体として統一感を持たせた方が良かったんじゃないでしょうか。

この場所に、この建物(増築部分)を持つてくる必要性があったのでしょうか？(日土の地じゃなく、別の場所に建築したのでいいと思います)

>2009年05月
 >2009年04月
 >2009年03月
 >2009年02月
 >2009年01月
 >2008年12月
 >2008年11月
 >2008年10月
 >2008年09月
 >2008年08月
 >2008年07月
 >2008年06月
 >2008年05月
 >2008年04月
 >2008年03月
 >2008年02月
 >2008年01月
 >2007年12月
 >2007年11月
 >2007年10月
 >2007年09月
 >2007年08月
 >2007年07月
 >2007年06月
 >2007年05月
 >2007年04月
 >2007年03月
 >2007年02月
 >2007年01月
 >2006年12月
 >2006年11月
 >2006年10月
 >2006年09月
 >2006年08月
 >2006年07月
 >2006年06月

日土小学校の設計者 建築家:松村正恒先生の設計意図というか、やさしい雰囲気、増築部分からは感じられませんでした。

そんな印象を増築部分に対して持っていました。

そのあと、松村正恒先生のことや、日土小学校のことについて、さらに書籍で知識を深めて、今日2度目の現地見学に臨んだわけですが、増築部分の設計意図を私なりに理解することができました。

(なるほど、こういうことだったんだ d("▽+"))

たくさんの見学者に交じって現地見学をしながら、自分なりに理解することができて、心の中で喜んでた訳ですが、第2部のパネルディスカッションの後に質問タイムが設けられ、質問をされたお客様も私が最初に持った「増築部分の違和感」と同じような質問をされていました。(やっぱり、パッと見た方は既存部分と増築部分のデザインの違いに違和感を持たれるんですね)

質問に対して、増築部分を設計された建築家の方は、「後でじっくり二人でお話しましょう」という答えをされました。(この場で簡潔に理由を言うのは難しいと思います。)

私が理解した増築部分の設計意図＝既存部分のデザインに合わせなかったことについては、こうです。

日土小学校が新築されたのは、今から50年前です。

当時としては最新の木造技術が日土小学校には使われています。

木造というと、それまでは大工さんの独占世界のようなもので、木組みの技と経験による感覚で建物が造られていました。そこに近代建築の文化とともに、構造力学とか構造設計の考えが日本に入ってきて、モダニズムの文化も入ってきました。

合理的に建物を造る。日土小学校は、そんなモダニズムの建物であり、木造でモダニズムを実現した建物です。

伝統構法ではなく、新しい木構造で建てられました。

大工さんのこだわりに対して、設計者として技術論で向き合うことも大変な苦勞だったと思いますし、それでもあきらめず子供達の為に学校建築に取り組んだ成果です。

そんな日土小学校と、その設計者:松村正恒先生の精神を受け継ぐということは、松村先生の建物をただ残すとか真似するのでは駄目だということです。

現代の最新技術で建てないといけないということです。松村先生が50年前にやったように。

増築部分には、確かに最新の木構造技術と、最新の教育論が詰め込まれています。

50年前、クラスター型の教室だったように、現代はオープン教室です。

増築部分の設計は、松村先生の精神をしっかりと受け継いでいると感じました。

現場見学会のときに感じる事ができた増築部分の設計意図ですが、それは記念講演会後のパーティで、確かなものになりました。

パーティの席で、増築部分を設計された建築家の武智先生が、一言参加者の前で感想を言われました。

内容は既存部分の改修内容についてで、「元々の玄関部分は腰窓だったところを、改修工事で全面開口に変更して、松村先生の設計思想を確かに活かして、よりよい空間が実現できています。全く違和感を感じさせない改修設計です」と、既存改修部分の設計を高く評価されていました。

その言葉を聞いて、武智先生も松村先生の設計意図を、理解されていることがわかりました。

武智先生は、本当にすごい方だと感動してしまいました。

自分の設計についての感想じゃなくて、一緒に日土小学校に向き合ったもう一人の建築家を褒め称えたところです。

そして何より、いろんな批評に対して、多くを語らない姿勢です。

既存部分の建物の存在がものすごく大きいだけに、それを越える設計をしないといけない増築部分の担当は、とてつもないプレッシャーだと思います。何にしても既存部分と比較されます。

偉大な建築家に真っ向勝負を挑むようなものです。

そんな大役を引き受けた武智先生は、すごい方だと思いました。

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



»トラックバック(0)一覧

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

世紀の一大イベント(4)「松村先生の心に触れる」

記事

公開日: 2009/08/04 17:18

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月



ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



2009.8.1 世紀のイベント“八幡浜市立日土小学校保存改修改築工事完成記念 現地見学会と記念講演会”が行われたので、行ってきました。

前回、2009.7.31に工事中の現場を見学することができました。

そのときに日土小学校のシンボリック存在の、川に張り出した空中バルコニーと、その手前にある図書室を見て、疑問に思った部分がありました。

なんで、こんなふうになっているのかな？と設計意図がわからなかったんですが、今回見学してそれを理解(自分なりの解釈ですが)することができました。

まるで、宝物を発見したような気持ちで、興奮してしまいました。(^^)/

その疑問に思った部分というのは、

お気に入りに追加

RSS

空中バルコニーの屋根が、向かって左側だけトップライトが設けられているんですが、右側は普通に屋根が葺かれています。どうして左右対称にしなかったのか、このトップライトは何の為にあるのか。それが1回目の見学ではわかりませんでした。

2回目の見学で、図書室にある造り付けのベンチに座って、たくさんの見学者が目の前をうろうろしている中でぼっと部屋の雰囲気確かめていたのですが、そのときに、目に素晴らしい風景が飛び込んできました。

日土小学校の横を流れる川と、川岸の草のじゅうたん、その周りを包むように生えている森の木々、そんな穏やかな風景が、ガラス窓野中に納まっていました。

そして、その上の屋根がトップライトになっていることで、圧迫感が消えて開放感がそのまま感じられるようになっていました。

トップライトは、この為に設けられているんだと思いました。

図書室は、右側がベンチで左側が本棚です。右側のベンチに座ると、おのずと左側の景色を見ることになります。ですので、トップライトは片方だけ設置したのでいいんです。

建築家:松村正恒先生の空間を作り出す力は、すごいなあと改めて実感しました。そんな先生の意図に気が付くことができた自分も、ちょっと先生に近付けたような気がして、嬉しくなりました。(*-*)

»トラックバック(0)一覧

YouTubeにはGoogle Chrome

そのさらに速くなったスピードで YouTubeをより快適に使えます

google.co.jp/chrome

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら 驚くほど簡単に動画を保存できます。

jp.real.com

Ads by Google

伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

世紀の一大イベント(5)「一人で興奮中」

記事

公開日: 2009/08/04 17:20

2009.8.1 世紀のイベント“八幡浜市立日土小学校保存改修改築工事完成記念 現地見学会と記念講演会”が行われたので、行ってきました。

記念講演会でのパネルディスカッションでは、工事に携わった方々がパネラーになって、それぞれに担当した部門の内容説明と報告が行われました。

錚々たるメンバーです。。('-'。)(.'-')。ワクワク
パネラー

- 曲田清維(愛媛大学教授)
- 花田佳明(神戸芸術工科大学教授)
(建築家:松村正恒研究第一人者)
- 和田耕一(和田建築設計工房主宰)
(日土小学校既存部分改修設計)
- 武智和臣(アトリエA&A主宰)
(日土小学校増築部分設計)
- 腰原幹雄(東京大学准教授)
(日土小学校構造計算)
- 佐藤孝浩(東京大学)
(日土小学校構造計算)
- 吉村彰(東京電機大学教授)
(教育環境計画)
- 梶本教仁(八幡浜市教育委員会)

オオオオ(・o・)/

知ってることを、ちょっと紹介すると、

花田先生は、建築誌“住宅建築”などに記事を書かれている方です。
木造モダニズムのこと、建築家:松村正恒先生のこと、日土小学校のこと、を研究されていて、その情報発信をされています。

私は、住宅建築の花田先生の記事を読んで、日土小学校や松村先生の魅力に取りつかれました(^-^)/ホリホリ。

花田先生の記事には、そんな人の心を引き付ける力を持っていると思いますし、今回の日土小学校の保存の大きな原動力になったのは、間違いないと思います。

和田先生は、愛媛県の木造建築のトップに立っている方です。
そして、日土小学校が壊されて建て替えられようとしている危機感を訴えて、半分以上ボランティアで工事に取り組みられました。

西条市にある四国鉄道文化館という木造建物の設計をされています。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

武智先生も、愛媛県の建築家です。
 ブログ記事の「増築部分のデザイン」でその凄さについて書きましたが、重責を果たすことができる愛媛県内でトップクラスの方です。

腰原先生は、木造構造学の権威で、木構造では日本でトップクラスの方です。(愛媛県ではできる人がいない限界耐力計算も、普通にできる方です。)

このメンバーを見ただけでも、ベストの布陣で日土小学校の保存改修改築に臨まれたと言えます。きつと、これ以上無いメンバーです。

日土小学校保存改修改築が完成した姿を見学して、今できることはすべてやりきったし、今の建築技術のすべてがここに注がれたんだと実感します。

最強メンバーですから！
 建築家：松村正恒先生の思いが現代にも届き、こうやってみんなで大切に守られていることに、感動してしまいます。

これこそ、建築家の建物に込めた思いが伝わっているということなんじゃないでしょうか。
 建築家自信が亡くなってもなお、建物を通してその思いを感じる事ができて、共感する人がいて、情熱を湧かせる力を持っていて、心で人を動かすことができるなんて、すごいことです。

日土小学校は、子供たちの学び舎だけではなく、大人も学ばせてくれる場所だと思います。
 その証拠に、見学会には800人の来場者があったそうで、それだけの人をひきつけ、いろんな感動を与えることができたんですから。

そういう瞬間をこの目で見る事ができて、ほんとによかったと思いました。
 ・。。。感(T▽T)動。。。。

»トラックバック(0)一覧

いい家を建てたい方へ
 一生に一度の大きな買い物 失敗しないためのノウハウを公開中！
www.myhome-univ.jp

ブログ内検索(b^-)

お知らせ
 ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

建築家になるには
 学校というより"養成所" 学問ではなく"仕事"そのものを学ぶ
www.designfarm.org

Ads by Google

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
 ~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

瓦屋根の魅力

記事

公開日: 2009/08/04 17:21



NHKのテレビ番組「美の壺」で放送された内容が本になって出版されているのですが、その中の1冊「瓦屋根」を買いました。

「美の壺」は暮らしの中に隠れたさまざまな美を紹介する、新感覚の美術番組です。普段使いの器から家具、着物、料理、建築に至るまで、衣食住、人の暮らしを彩ってきた美のアイテムを取り上げていきます。

古今東西の美しいものの魅力を、洒落たジャズとともに、贅沢かつ知的に伝えます。日本人ならではの暮らしの知恵やこだわりは、見る者を豊かな気持ちにしてくれるはずです。

番組ではそれぞれのアイテムの選び方・鑑賞法を、いくつかの「ツボ」に絞ってわかりやすく解説していきます。

目指すは実際に使える「美術の鑑賞マニュアル」。

この番組で紹介したツボを覚えていただければ、これまで敷居の高かった骨董店や美術館でも、ひとかどの「通」として振る舞うことができるかも・・・。

(美の壺番組ホームページより)

ということで、美の壺「瓦屋根」には、瓦屋根の鑑賞ポイントが書かれています。
(一般の方向けに書かれているので、専門書としてはちょっと物足りませんが・・・)

1000年以上昔から、日本の建築物の屋根を守ってきた瓦屋根。最近では、銅板葺きとか、瓦葺きでも釉薬瓦が増えて、日本古来からのいぶし瓦はあまり使われなくなってきています。

屋根の形が簡単になっていくに従って、鬼瓦も姿を消していっています。

なんだか、寂しい気持ちになります。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

そういう私も、設計の中でいぶし瓦を使った屋根を使わないので、責任の一端はありますが・・・(;)ゞ

でも、以前かわいい七福神の飾り瓦を見たときは、心惹かれるものがありました。鬼瓦とか飾り瓦には、機能性だけでは判断できない造り手の思いが込められています。そして、整然と並んでいるいぶし瓦の屋根を見ると、心が落ち着いた気持ちになります。

心地いい空間をつくる時には、こういう感覚を大切にすることも必要なのかなと考えさせられます。

■追記

地産地消の家づくりについて、近頃考えていますが、木材にだけ目がいっています。愛媛県には菊間瓦という伝統文化もあるので、瓦について考えてもいいかもしれません。

でも地産地消が、コレクション集めみたいに地元のものだけを使うことに走ってしまっはいけないですね。地産地消の本来の目的や意味を考えて行動しないと・・・

»トラックバック(0)一覧

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら 驚くほど簡単に動画を保存できます。
jp.real.com

マクロを始めてみたい方へ

8千人のエクセルユーザーが絶賛! まぐまぐNo1のレッスン形式学習法
www.wat3d.com/vba/

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

プロの姿勢

記事

公開日: 2009/08/05 00:00

最終更新日: 2009/08/06 09:30

以前、お師匠からこんなことを言われました。
「設計者に自信が無かったら、お客さんは誰を頼りにしたらいい」

自分に自信が無い設計者が、プロを名乗る資格は無い。

おっしやる通りです。
設計を職業として、お客さんから仕事の注文をいただいでお金をいただく以上、プロでなければなりません。
今の私は、プロとは呼べないのかもしれませんが。

毎日書いているブログ、そこには、自信が無いことも、不安になったことも、悩んでいることも、間違ったり失敗したことも、ありのままに書いています。
それは自分に自信が無い表れですし、ブログを読んでいた人やお客さんを、不安な気持ちにさせてしまうことになるでしょう。

建築家や設計者(設計事務所)のホームページ・ブログを見ても、その人がどんなことを考えたり悩んだりしているのか、人柄をうかがい知ることができるような記事はなかなか見当たりません。
作品・物件の紹介だったり、その人の技術力くらいしか知ることができないものがほとんどだと思います。

建築家や設計者のほとんどが、同じような内容のホームページ・ブログになっていることに、疑問を持っています。
建築家や設計者だって、一人の人間ですから、悩んだり失敗したり不安になったりすることもあるはずです。
そういう人間的な部分を感じることができるようなブログがあってもいいんじゃないか。そうすることで、もっと建築家や設計者と、お客さんの距離が近くなるんじゃないかと思います。

家づくりは、思いを詰め込むことが大切だと思っています。思いを扱う仕事だから、建築家や設計者は人間的な部分が大切だと思っています。
そして、建築家とは生き方そのものだと思っているので、人間的な部分を含めて知ってもらう必要があると思います。

そんな理由から、私のブログはありのままのことを書いている訳ですが、それが結果としてお客さんを不安にさせて、仕事に繋がらないのかもしれませんが。

自分に自信が無いですが、いつになれば自信が持てるのか、わかりません。
不安なことばかりです。
不安だから、不安を打ち消す為に必死に勉強します。努力して力をつけようと思います。
サラリーマンだったら、不安にはならないのかもしれませんが。失敗しても上司や会社が助けてくれま

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

すから。(よっぽどじゃないと、失敗してクビを切られることは無いでしょう)
 そういう意味では、独立してからのの方が、勉強しているかもしれません。

ここ数か月、お師匠を含めて建築家の方に接する機会を得ていますが、そこで思ったことは、みなさん自分が思っていることを外に発信しようとしません。どんな意図で建物を設計したのか、自分で建物の説明をしようとしません。

なんでかなと思いました。

たぶん、肯定も否定も含めて、その建物の評価であり、その建物に接した人たちの思いだからです。先に設計者自信が建物の評価をしてしまったら、他の思いを抑えつけてしまうことになるからだと思います。

批判を受け入れることは、とても勇気がいることです。
 不安や苦しみに耐える強い心が必要です。

日土小学校の増築部分を担当された建築家の先生は、建物を見た方のデザインに対する疑問の質問に対して、個別に説明しますという姿勢をとられました。大勢の人の前で発言する機会を与えられているのに、大勢の人に向かって自分はこう思っているんだと、自分をわかってもらおうとする行動はとられませんでした。

設計に対して、感じ方は人それぞれ自由でいい。意見を求められたときに、その人にだけ答えたのでいい。どんなふうに設計に込めた思いを感じてもらえるかを、人それぞれに託しています。

数か月前、土佐派の家づくりの建築家・西森先生に質問をしたことがありました。(2009.6.13記事「舞い上がってます」参照)

いとう「西森先生は、設計した建物に、いろんな思いを詰め込まれていますが、それがお客さん・施主にどれくらい伝わっていると思われていますか？どれくらい伝わればいいと思っていますか？」
 先生「人にはそれぞれの思い、感じ方があるから、どれだけ伝わっているかはわかりません。でも大切なのは、設計者が思いを伝えることを諦めないことです。」

という答えをいただきました。

自分の設計に対する思いが、他の人に伝わっていないからといって、それを伝えようとはせず、伝えることを願いながら諦めず努力することが大切だと言われました。

建築家の先生には、そういう考え方が共通しているようです。
 そういうレベルに達することができたとき、建築家と呼ばれるようになるのかもしれない。

私は、ブログを使って自分が思っていることをどんどん書いています。
 今日もそうです。

これ自体、建築家になれるにはまだまだだということですね。

建築家は、設計の技術力よりも、心を磨くことが大切だとつくづく思います。
 道具がどれだけ優れていても、道具を使う手先が器用でも、正しい使い方ができる心を持っていないと、凶器にもなるし殺人者にもなります。
 道具は手に入るかもしれませんが、心を養うことは簡単ではありません。

最近、いろんなことを学ぶことができて幸せです。

»トラックバック(0)一覧

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

http://maglog.jp/110adr2/

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

世紀の一大イベントを終えて

記事

公開日: 2009/08/05 00:00
最終更新日: 2009/08/06 09:29

2009.8.1 世紀のイベント”八幡浜市立日土小学校保存改修改築工事完成記念 現地見学会と記念講演会”が行われたので、行ってきました。

そこで、いろんな出会いがありました。

■出会いその①

会場には、たくさんの方が来られていました。建築界ではかなり注目されているイベントですから、建築家や設計業を行っている人達がたくさん来ているはずですよ。

そんな中で、私が以前建設会社に勤めていたときに、一度だけお目にかかったことがある建築家の方が来られていました。

愛媛県でかなり活躍されている方で、カッコいい木造住宅をコンスタントに設計されています。私は独立してから、一度その建築家の方のところに挨拶に行こうと思いつつ、行っても顔も覚えられて無いただろうし、突然行っても「あんた誰？何しに来たの？」と言われそうで、腰が引けていました。

そんな念願がやっとかなって、名刺交換することができました。

「〇〇建設の設計をされていて、一度お会いしたことあるんですよ」

というと、だいぶ打ち解けて話すことができました。

先生は、29歳のときに独立して、失業中に失業保険をもらいながら一級建築士を取得されたそうです。

「自分を追い詰めないといけないよ」

と言われました。(追い詰めるのは嫌いなので……)

「3年続いたんなら、大丈夫だね」

と言われましたが、大丈夫とは思えませんが……(ω;A)フキキ 後半は、情性で続けていたようなもので、仕事してないですしねえ(汗)

先生も独立して最初のころは、なかなか大変だったそうです。

「奥さんの協力がないと、この仕事はやっていけないからね、奥さんを大切にしないよ」

「ホームページは作っている？私も仕事の注文は、ホームページがかなり役に立っているから。これからはそういう時代だね」

いろいろと、話を聞くことができました。又今度事務所にお邪魔します。

■出会いその②

お師匠から、以前「今治で頑張っている若手建築家のグループがいるよ」と教えていただいたことがあります。

その若手建築家2人と名刺交換ができました。

(おお～、この人たちが、お師匠が言う人かあ)

また機会があれば、いろいろ話ができればいいなあと思いました。

■出会いその③

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

日本の木造建築の構造設計の権威である、腰原先生の一番弟子の若手構造設計者を、お師匠に紹介していただきました。

構造計算ができる人の脳みそって、どうなってるんだろう？と、常日頃から構造計算ができる人の頭の良さに驚いています。計算式を見ただけでめまいがします(笑)

そんな構造計算の世界でも、トップクラスの位置に居る人なんだろうと思うと、それだけでビビってしまいます。

しかも、自分と同年でそこまでの技術を身につけているなんて。自分はこの15年間、何やってたんだろうと思ってしまう。

その構造設計者と一緒に仕事をされている、もう一人の若手構造設計者も紹介していただきました。私より一つ年上です。

二人とも、東京に住んでいるので、気軽に遊びに行くことはできません。でも、一度は私のにわか仕込みの知識をぶつけてみたいなあと思いました。

ぶつけて、粉々になったら、もっと知識を深められるし、新しいことを学べると思います。

いくら意匠屋が建物を想像しても、それを実際に実現できる構造の裏付けが必要ですから、構造設計者の方が、すごい存在だと思っています。

- 今日一日で、まったく別世界の人達と出会って話をする事ができました。
 ブログを読んでいる方ならわかるかもしれませんが、今までは工務店の人とか大工さんとかとの人脈ばかりでしたので、愛媛で一番とか日本で一番とか、そういう世界の人達との出会いは、かなり画期的なことです。
 自分が今いる井戸の中から、まったく違う外の世界にちよつと頭を出したような気分で、めちゃめちゃ興奮している訳です。
 でも、またいつもの井戸の中に戻るんだろうなあ…ヒュ----- ” ヲ(joj)≒ ”
 井戸の外には、すぐそこにこんな世界が広がっているんだなということを知っただけでも、良しとしないといけません。
 そのうち、外の世界に行くことができるかもしれません。
 でも今は、まだ井戸からでると、干からびて死んでしまいそうなので、今できるところで努力しないといけません。

- 最近、“お師匠”が話の中に時々登場しますが、お師匠って誰だと思われているかたがいると思います。
 そのことは、2009.7.3「弟子入り」の記事に書いていますので、読んでください。

»トラックバック(0)一覧

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

スキャナでExcellに変換

カンタン操作!ScanSnapを使って書類をExcellに変換。
scansnap.fujitsu.com

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
 ~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら驚くほど簡単に動画を保存できます。
jp.real.com

伊藤建築設計室公式ホームページ

Ads by Google



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

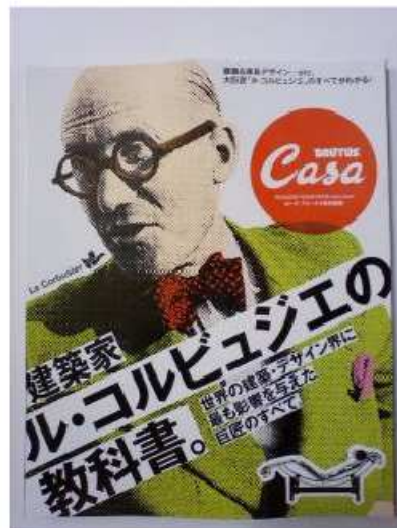
[»2009年06月](#)

記事

建築家:ル・コルビュジェ

記事

公開日: 2009/08/06 20:36



ここ数か月の私の中でのホットな話題

モダニズム建築

その原点とも言える建築家の特集雑誌が、本屋さんに並んでいます。

今、この時期に、こんな本が出版されるなんて！

なんとなく、世の中の動きが自分のバイオリズムに合っている感じがして、Σ(°)ドキッ!としました。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

居心地のいい家のイメージ

記事

公開日: 2009/08/07 21:33



私にとっての、居心地のいい家のイメージ。

穏やかで、身も心も開放的になる場所
草や木や土の香りがして
虫や鳥の鳴き声が聞こえて
優しく肌に触れるような風があります
陽の光がキラキラといろんなものを照らしています

どことなく、懐かしさを感じさせる雰囲気です。

懐かしさと心が落ち着くことは、通じるところがあると思います。
住宅はちょっと控え目で、自分のことは主張せず、人をそっと後ろから見守っているような雰囲気です。

家の中は明るすぎず、ちょっと暗いぐらいですが、その方が外の明るさとか色の鮮やかさを感じることができます。

どんなときでも、何かの引き立て役です。

家に住む人だったり、周りの環境だったり、自然の恵みだったり。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

控える美学

記事

公開日: 2009/08/08 21:25



NHK番組“美の壺”で、“京の町屋”が放送されました。

「町屋の魅力を感じるポイント」

- 一、暗さの中で自然の光を楽しめ
- 二、木組みが生み出す空間美を見上げよ
- 三、夏を涼む仕掛けあり

町屋は、江戸時代に商人が住んだ店舗併用住宅です。

江戸時代、家の間口の大きさが課税評価が決まっていたので、できるだけ間口を狭くして、奥に長い建物にしたのが町屋の成り立ちです。

そのおかげで、家の奥には光が届きにくく、薄暗い空間になっています。

できるだけ空間の暗さを解消する為に、中庭を設けたり、天窗や高窓を設けたりして採光を取り入れる工夫がされています。

町屋は、今の私たちが忘れてしまった“日本人の感覚”を思い出させてくれます。

現代の住宅からすると、時代おくれの不便な建物ですが、それでも町屋に魅力を感じるのは、本能的な部分に記憶されたものが、反応するからかもしれません。

今日は町屋を通じて、家づくりに大切なものについて考えてみました。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

町屋の道路に面した部屋は、店舗として使われていました。
 お店の顔とも言える正面デザインは、開口部に縦格子が付けられて、中の様子が丸見えという訳ではありません。
 道路沿いに並ぶ建物のどれもが、同じような外観で、個性は全然ありません。店舗なのに、道路を歩く人に向かってアピールしていません。
 店舗なら、中の商品やお店の雰囲気为抓手りやすいように、開放的にすればいいと思うんですが・・・。
 構造的な問題もあったとは思いますが、そこに昔の日本人の美的感覚があらわれていると思います。

私の思い浮かべる昔の(明治より前の)日本人は、
 一歩控えた姿勢で、自分というものを全面に出して主張せず、思いを内に秘めています。思っていることの多くは語らず、雰囲気から相手に感じてもらうようにします。
 何かを伝えるときも、比喩的表現を使って、直接言葉で伝えようとはしません。直接言葉に表現せず、たとえとして言葉の中に意味を織り込む、その表現力が知性を感じさせたり、話術としての遊び心があったのかもしれない。
 そんなふうな、昔の日本人の生活のいたるところに、“控える美学”と呼べるようなものが存在していたように感じます。

自分の我を通そうとせず、あるがままに生きるような、それでいて、強い意志を自分の中に持っているような、そんな人間象を昔の日本人に思い浮かべます。

町屋に話しに戻すと、そういう昔の日本人の姿勢に置き換えて観ることができます。

建物外観がまずそうです。どれも同じデザインの外観で、自己主張がありません。
 建物の中の様子も、窓の格子越しにチラチラとしかうかがい知ることができません。チラチラと格子の間から見え隠れすることで、建物の中への興味を持たせ、見る人の想像力をかきたてます。

建物の中は外に比べてかなり薄暗くて、気が落ち込むような気分にはさせません。
 それが、店の中で落ち着いて商品を見る気持ちにさせます。商品のデザインや色が、窓の格子から入ってくる光で協調されて、商品を引き立てます。
 決して店の空間自体が主張するのではなく、あくまで主役の商品の引き立て役に徹しています。

建物の部材の色も、木の深い茶色・黒とも言える色と、壁の白い色です。黒い木部は、薄暗い空間に溶け込んでいくようです。光に当たって作りだされる影も黒ですし、畳の縁も薄暗い空間の中では黒に近い色に見えます。
 影や薄暗い空間を無理やり明るくしようとせず、その空間を受け入れているように感じます。

テレビの中で、京の町屋に住んでいる人のコメントがありました。
 台所は、薄暗いんですが、吹き抜けの上部の天窗から、光が入ってきます。それが午後4時くらいになると、一番明るくなるので、その時間に合わせて夕飯の準備をするそうです。

時間の流れに従って、生活リズムを合わせています。日が昇って沈むという自然の流れに従って生きています。

町屋の中央には、中庭が設けられています。
 薄暗い部屋から中庭を眺めると、その明るさや庭の木々の色の鮮やかさが引き立ちます。
 建物の中が暗いからこそ、感じられるものです。

家の中が薄暗いことで、傷とか痛みとか、時間とともに変化していく姿が、あまり気にならないのかもしれない。
 というよりも、ありのままを受け入れた生活をしているので、時間が流れているということを理解して、形があるものは傷んでいくし、新しいものは古くなっていく、いつまでも同じ姿で留まっていられる訳は無いということを許容しているんでしょう。その気持ちや、愛着に繋がりが、物を大切にすることや、人々の心を育てるんだと思います。

今日もまたまた長々と書いてしまいました。(^-^;)♪ ホリホリ
 30分番組なのに(笑)
 でも、今の住宅を見ていると、なんて昔の町屋は奥深いんだらうと思います。デザインが主張していないことで、逆にいろんなことを感じられるし、奥深い魅力に繋がっています。

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
 ~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



お気に入りに追加♪



そして、住宅がそこに住む人を育ててくれているように感じます。

今は江戸時代じゃないので、町屋を建てて住むことは大変ですが、町屋の精神、昔の日本人の精神は、今の家づくりでも大切にしないといけないんじゃないかなと思います。

»トラックバック(0)一覧

1000万円 注文住宅

低予算でこだわり実現!施工例が満載 全国のハウスメーカー・工務店を探す
iezukuri.homes.co.jp

マクロを始めてみたい方へ

8千人のエクセルユーザーが絶賛! まぐまぐNo1のレッスン形式学習法
www.wat3d.com/vba/

Ads by Google

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

かわいい贈り物

記事

公開日: 2009/08/08 21:26



家の玄関の側に植えた朝顔が咲きました。
ポストに弦を巻いて、側に置いていたトロの置物が葉っぱの中に包まれていましたが、花が咲いてまるでトロの傘のようになりました。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

暇ワリ

記事

公開日: 2009/08/19 20:51



夏も後半戦に入りました。

玄関先には向日葵が咲きました。

まだまだ日差しが強いので、紫外線対策が欠かせません。年齢を重ねるにつれて、しみそばかすが気になります。向日葵のように日に向かって元気よくというわけにはいきません。(ほんっとに、しみが増えました(-_-)「ヤレヤレ」)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

2年前の約束

日記

公開日: 2009/08/20 00:00
最終更新日: 2009/08/21 18:05



私の実家に、妹夫婦がやってきました。
昨日残暑見舞いのがきくれた甥っ子も一緒です。

昨年の結婚式のとき以来会ってなかったので、妻と一緒に会ってきました。
甥っ子との約束もあったので(^-^)

甥っ子との約束というのは、2年くらい前に、ラジコンカーと一緒に遊ぶ約束をしました。ラジコンカーをプレゼントして、今度は二人と一緒に遊ぼうと約束したまま、2年も経ってしまいました。、「(-_-)」

妻に、「子供はいつまでも約束を覚えているものだから、約束するときは気軽な気持ちでしたらダメだよ」と教わったことがありました。
その言葉がずっと残っていて、2年前の約束も私の中でずっとモヤモヤしていました。

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

住宅設計手法について

記事

公開日: 2009/08/20 11:41

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

～2006.5～2008.12の物件から選んだ写真です～

■久万の住宅

～伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています～

伊藤建築設計室公式ホームページ



お気に入りに追加♪







住宅は、人の体を育て健康を維持する他に、人格を形成する(精神を育てる)大切な場所です。人の生涯の中で一番身近な存在(建築物)であり、一番関わる時間が長い場所でもあります。住宅が、体と心を育てる場所だからこそ、居心地がよく豊かな空間でなければなりません。

居心地がよく豊かな空間を創り出す為に、どういふことを考えながら設計を行うか、“住宅設計手法”としてまとめました。

この住宅設計手法はあくまでテクニック・表現方法の一例で、大切なのはどんな空間をつくりたいかをイメージすることです。

テクニックは、空間を表現する為の方法にすぎません。

テクニックに頼り過ぎて、技術を無理やり詰め込むことに走らないことが大切です。

「住宅設計手法」

1. 遠近法と連続性

- ・外部と内部の境界を曖昧にする。
- ・外の一部としての内、内の一部としての外
- ・部屋と部屋、上下階が、その場所だけで完結せず連続することで、豊かな空間を作り出します。(豊かさとは、寸法以上の広さだったり、家族の交流だったり)
- ・建築物は、空間の一部を仕切ることで、まったく別の空間を創り出すことですが、仕切るからこそ大きな空間の一部だということを忘れてはいけません。大きな空間＝外部が無ければ、仕切られた空間＝内部も存在できない(創り出すことができない)ということです。

2. 概念

住宅は概念の塊であり、人は概念が無いと生きていけません(生きるのが大変です)。ですが、概念と向き合い最終的には概念から解放され自由になることを目指し、その為に悩んだり考えたりしながら生きていきます。

そういうことで、居心地のいい落ち付く空間は、ある程度概念が必要です。住宅らしさという概念が、安心感をあたえ、居心地の良さにつながります。

そのうえで、概念にとらわれない空間(いろいろな用途に利用できる空間や部材)を用意することで、感受性や想像力を育てることができます。

住宅を、あらかじめ使い方(用途)が決められた部屋の集まりにしてしまわず、住む人がさまざまな使い方を創造できる空間である住宅が、人の心(想像力、感受性)を育てます。

3. 感受性

五感を刺激するような空間にする。＝光・風・音・温度・肌触り・香り

・住宅が概念で空間を仕切って造られた人工物だからこそ、外部の自然の豊かな表情にはかな

いません。内部を暗くすることで、より外部の明るさを感じることができます。

4.精神性

万物に宿る神様・精霊を感じ敬う心が、日本人の精神には息づいています。家づくりに関わったたくさんの人々の思いを感じることができたとき、住宅に命を与え、住宅が家族の一員のような存在になれます。それは愛着に繋がり、住宅や家族を大切に作る心になります。

- ・建築材料で唯一の生物材料である木材を使うこと
- ・使っている木材が生まれ育った場所を知ること、より身近に感じられること
- ・家づくりの思い出、家で育っていく家族の思い出

5.想像力と自由性

- ・隠れている部分を想像すること
- ・自由な使い方を想像すること
- ・設計が住宅の自由を奪い、限定せず、住む人が自由に使えること。



動画ファイルダウンロード

ファイルサイズ:42.6MB

ファイル形式:wmv(Windows Media オーディオ/ビデオ ファイル)

住宅設計手法
43705KB
video/wmv

»トラックバック(0)一覧

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

増築工事の法規制緩和 9月から

記事

公開日: 2009/08/21 15:54

増築工事の際の、既存部分に対する法規制が9月から緩和されるそうです。

今までが厳しくて、融通が利かない感があったので、緩和されるのはいいように思いますが、素直に喜べないところもあります。

改正前は、“耐震改修促進法”のからみで、増築する際に既存部分も耐震性を確保することが求められていました。

(既存部分と増築部分が棟続きで、計画後もひとつの建物になる場合。離れとして、くっつけずに増築するときは、既存部分はそのままOK)

①増築計画部分が、既存部分の床面積の1/2以上の場合、既存部分も今の法律どおりにする

②増築計画部分が、既存部分の床面積の1/2以下の場合、構造上別々の建物にすれば (EXP.Jで分離)、耐震診断基準に適合すること。

耐震診断基準に適合ということは、耐震診断をして、評価結果が1.0以上になるように補強工事が必要になります。

(現実的には、今の法律で規定している耐震性能よりも低くなっているため、補強工事が必要なのがほとんどです。)

③既存部分を何もしなくていいようにするには、増築計画の床面積を50㎡以下かつ既存部分の1/20以下にする。

(200㎡の家で10㎡までが1/20なので、現実的には難しい内容です。)

ということで、既存部分についても何か工事が必要になっていました。

耐震性能をUPさせるためには、耐力壁を追加するとか、基礎を補強するとか、ちょこっと工事では済まなくなります。

増築工事を計画するときは、新築するほどの予算の都合ができないなどの理由が考えられます。節約して、増築部分にめいいっぱい予算を使いたいと考えていると思います。

でも、法律によって既存部分にもかなりお金をかけないといけなくなるということで、増築を諦めるケースもありました。

設計の立場から、お客さんに説明するときも、なかなか大変でした。

(ω;A) フキフキ

改正された9月からは、既存部分がS56年以降(新耐震基準)に建築されたものなら、増築部分が既存部分の1/2以下の場合、EXP.Jで構造上分離すれば耐震診断が不要になるそうです。

“新耐震基準への適合を耐震診断と同等のものとして位置付ける予定”だそうです。(‘ー’;)?

S56以降に建てられていれば、耐震診断と同等とするということですが、S56~H12までの建物は、筋かいの端部と耐力壁の脇の柱頭・柱脚の様子が明確になっていなくて、金物の規定が不十分だった時代なので、耐震診断をすると補強工事が必要になっています。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

それをしなくて良くなるということなので、どうなのでしょう？
 せっかく増築しても、地震が来たら壊れてしまう可能性が高くなります。
 (改正前は、S56以降の建物でも耐震診断すると補強が必要になっていたのに、それをしなくても同等の性能があることにするっていうのは、矛盾を感じます。)

実際は、しなくてもいい訳じゃなくて、建築確認申請のときに申請内容の中に耐震補強の検討が必要なくなるというだけで、設計者が既存部分の耐震対策を行わないといけないことには変わりはありません。(建築士は、誠実に業務を行わなければなりませんから)“申請手続き”という法的な力がなくなると、設計者の立場だけで行えるのでしょうか？

増築工事をどんどんできるようにして、経済的な効果を期待しているという風に思えてしまいます。利益のために、安全が後回しになっているような…。

かといって、今までは耐震補強の費用はお客様負担でした。国が法的に耐震補強を進めて、費用負担は個人任せでした。増築工事ができないよりは、できるようになっただけマシなんでしょうか？

規制を緩和するよりは、補助金を出して補強を進められるようにしたほうが良いように思います。でも、補助金も国民の税金ですから、家を増築しない人にとっては、その人の税金が自分のことには使われず、一部の人だけに使われるということなので、それもなかなか難しいのかもしれない。(高速道路ETC1000円みたいなもの？)

難しいですね。

“国交省は近く、技術的助言を通知し、制度の運用上の注意点を特定行政庁などに周知する方針。”
 ということなので、もうちょっと情報が入ってくるのを待ちます。

「参考」

- 耐震基準について(法改正の変遷)
<http://110adr.spaces.live.com/blog/cns!C0D32A10A092E5621325.entry>
- 増改築法規制緩和のニュース記事
<http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20090820/534828/>

»トラックバック(0)一覧

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

リフォーム・耐震の事なら

トータルリフォームから耐震補強工事 工事の施工までは全て無料
www.toyuhouse.com

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
 ~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

坪単価で探す注文住宅

家を建てるはじめての一步。まずは 大手ハウスメーカーのカタログ比較!
www.iezukur-nel.com

伊藤建築設計室公式ホームページ

Ads by Google



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

日本人の心

記事

公開日: 2009/08/24 17:42



日本の住宅は、たくさんのものが消えていっています。
すでに消えてしまったもの、消えていく途中にあるもの、
機能や部材が消えるのと同時に、精神的なものも失われていっているような気がします。

土間
犬走り
縁側
雨戸
障子
襖
かまど
囲炉裏
床の間
大黒柱
仏壇
神棚
瓦
和室
畳

技術が進歩していくことで、機能的に役目を終えたものがたくさんありますが、機能性だけで生まれて発展してきたのではなく、昔の日本人の精神が発展させたり保存させたりしたものがあったはずです。

それぞれの部材が複合して効果を生じるものもありました。

»2009年05月
 »2009年04月
 »2009年03月
 »2009年02月
 »2009年01月
 »2008年12月
 »2008年11月
 »2008年10月
 »2008年09月
 »2008年08月
 »2008年07月
 »2008年06月
 »2008年05月
 »2008年04月
 »2008年03月
 »2008年02月
 »2008年01月
 »2007年12月
 »2007年11月
 »2007年10月
 »2007年09月
 »2007年08月
 »2007年07月
 »2007年06月
 »2007年05月
 »2007年04月
 »2007年03月
 »2007年02月
 »2007年01月
 »2006年12月
 »2006年11月
 »2006年10月
 »2006年09月
 »2006年08月
 »2006年07月
 »2006年06月

今の住宅は、そういう昔の精神も一緒に失ってしまっているように感じます。

古臭く感じる失われた物からは、精神的なことだけでなく、豊かな感受性から生まれる空間想像力、自然と上手に暮らす技など、いろんなことを学ぶことができます。

書籍“日本の家”は、今の住宅から消えてしまった、消えていこうとしているものの奥深さを知ることができます。

»トラックバック(0)一覧

1000万円 注文住宅

低予算でこだわり実現!施工例が満載 全国のハウスメーカー・工務店を探す
iezukuri.homes.co.jp

YouTubeにはGoogle Chrome

そのさらに速くなったスピードで YouTubeをより快適に使えます
google.co.jp/chrome

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

余韻

記事

公開日: 2009/08/24 17:42



最大の目標は伝説になること
それに向かって進み続けている

ウサイン・ボルト

もう十分伝説になったと思います。((udu*)ウワン

世界陸上も終わりました。

夏も、今年は雨が多かったせいで、あっという間に終わった感じで、駆け抜けていきました。
青空の下にいと、なんとなく夏のガラガラした感じとは違った、すこし寂しい気持ちになります。

蝉の鳴き声から、鈴虫の鳴き声に変わっていきます。

夏が終わるから寂しく感じるのでしょうか？夏が元気ハツラツな分、落ち付いたような熱が冷めたような雰囲気、寂しさに似ているのでしょうか？

夏も終わりですね。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

これ、わかりますか？

記事

公開日: 2009/08/25 22:01



「向日葵はひまわり」

これ、結構深い言葉です(-ω☆)キラーン

何言ってるの？と思うかもしれませんが。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

アレルギー体質の改善

記事

公開日: 2009/08/26 17:16



構造計算の基礎を勉強してみました。(今更ですけど(笑))

設計をする人には、意匠屋と構造屋の二種類の種族がいます。

私は意匠屋です。(^-)

意匠屋は、だいたい構造計算に対してアレルギー体質です。数字とか計算式とかを見るとめまいがして、眠気が襲ってきます。

?(^_.)?てゝひょ

構造計算のことは、構造屋さんにお任せです。(*μ_μ)ゞホリホリ

社会人になってからの17年、構造計算を避けていましたが、最近は少し免疫ができたのか、自分から知ろうという意欲が湧いてきました。

体質が変わってきたのかもしれませんが。

でも、いざ本を開くと、内容の半分以下しか頭に入りません。

(;´Д`A´´´´

漫画で説明してくれている、わかりやすいのから読めば頭に入るだろうと思ったんですが、それでも入りません。

手の施しようが無いですね(TwTIII)ガーン

まあ、無理に頭に入れようとすると疲れるので、のんびり気が向いたときだけ読むようにします。

ちなみに、構造計算というのは、

建物が壊れずに建っていられるのはなぜ?なんとなく?を根拠立てて説明できる方法です。

力という目に見えないものを、見えるようにしてくれるものです。

今回買った本の中では、説明に「棒とか板とかを曲げたり引っ張ったりするとき、どんな風に棒や板が変形するのか」を例として使っています。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

棒や板に力が加わったときの変形を見ると、力がどんなふうに流れているのかがなんとなくわかります。でも、建物をつくるときにはいちいち実験していたのでは、とんでもないことになってしまいますので、力の流れを手取り早く目で見てわかるように表現できないかと考えたら、数字とか計算になるんですね。

本の中でも、計算のテクニックを磨くことと同じくらい、物の変形の仕方をイメージできることが大切だと書いています。

構造計算、構造力学をちょっとでも知ることは、自分が住んだり関わっている建物が、どういう考えで造られているのか、建物に加わる力をどうやって処理しているのか、考え方を知ることができません。

地球上に建っている建物は、全て構造力学で成り立っているんですから。

»トラックバック(0)一覧

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら 驚くほど簡単に動画を保存できます。
jp.real.com

YouTubeにはGoogle Chrome

そのさらに速くなったスピードでYouTubeをより快適に使えます
google.co.jp/chrome

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
 私のブログの動画を観る方法
 登録読者限定の記事について
 サイトポリシー

記事ピックアップ

- フォトギャラリー
 ~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~
- 久万の住宅
 ~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

ニュース「銅板屋根のせいで、盆栽が枯れた」

記事

公開日: 2009/08/27 20:27



テレビのワイドショー番組を見ていると、銅板葺きの屋根のせいで、盆栽が枯れたというニュースをやっていました。

だいぶ前に、どこかの町の盆栽の美術館に展示する為の盆栽が、庭に置いていたら突然枯れてしまって、大損害が出たというニュースをしていたことを思い出しました。

そのときは、誰かの嫌がらせか？とか言っていたのですが、まさか盆栽を置いていた庭に隣接して建っている建物の屋根に使っている銅が、雨水で溶けて、それが盆栽にかかってしまったのが原因だったとは。

これはちょっと興味のある話題だなと思いました。

銅板葺きは、江戸時代ころから日本の建物で使われている屋根材です。塩ビ鋼板とかガルバリウム鋼板とかが出るよりもっと昔に、銅の自然被膜を活かして使われていました。今でも使われています。

自然被膜は、銅が酸化することでできる表面の酸化皮膜で、緑青色の味わい深い色になります。素材そのものの自然の現象を利用して、長持ちさせようということです。

でも、その銅が雨で溶けて、庭先の植物に悪さをするのは驚きました。(こんなことが起きるなんて知らなかったです。)

万能なものは無いということですね。

でも、最初から欠点を知っていたら、盆栽をもっと別の場所に置いていたでしょうに(汗)

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

■ニュース記事

「さいたま市の高級盆栽変色は雨水 建物屋根の銅成分影響」

<http://news.shikoku-np.co.jp/national/social/200908/20090824000388.htm>

»トラックバック(0)一覧

大阪の屋根葺き替え専門店

弊社では良心的な価格で高品質な屋根 葺替を致します。
相見積りの方大歓迎
www.mutohsangyo.jp

コケ植物による屋上緑化

屋上緑化で断熱・省エネ・建物保護！ 工場屋根～ビル・マンション屋上まで
www.mossworld.co.jp

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

～2006.5～2008.12の物件から選んだ写真です～

■久万の住宅

～伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています～

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

そうじきのコード

記事

公開日: 2009/08/28 21:12



掃除機の電源コードを巻き戻すとき、巻き終わる手前でコードの先が跳ねて、ボタンを押している手をピシッと叩かれるのは、私だけでしょうか？(o`ω´)ンー…
痛いんですこれが(笑)

まあ、コードの先っぽを掴んで巻き戻せばいいだけのことなのですが、あのスイスイと一気に巻き込まれていく様が、なんとも気持ちいいんです(≧▽≦)ノ

なので、コードが跳ねるなと思った瞬間に、ボタンからさっと手を離して、うまく避ける事ができたらラッキーです。

それだけです。[壁] ㄥ ソアツ…

書くネタがありません(汗)[壁]ニサツ!!

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

ゆら〜り

記事

公開日: 2009/09/05 18:57



時間が流れていることを
感じられるひとときです。

台所から聞こえてくる
コトコトというまな板の音
夕飯のいい香り

虫の音
涼しい風

洗濯物を取り込んでいるところです。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事

「SAjfhdlKJgvl▽※」

記事

公開日: 2009/09/07 19:52

在来構法と伝統構法の先にある木構造について
住宅の人との関わり方、住環境、地域環境について
設計者はどう建築と向き合う必要があるのか、建築家はどのような存在なのか

そんなことを話しても、「何言ってるの?」という感じでしょうね(笑)

不景気で新築住宅が売れないとか、売る為には安くてデザインが良くてとか、利益を出すこととか、みんなそういうことを考えているんですから。
お金を稼がないと生活できないですから、当然です。

久しぶりに会って話をして、すごく距離を感じました。
私は、違うところに来ちゃったんだなあと思いました。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

動画をダウンロード

(無料)新しくなったRealPlayerなら 驚くほど簡単に動画を保存できます。
jp.real.com

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

Ads by Google

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

[メッセージを送る](#)

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

秋桜

日記

公開日: 2009/09/08 17:01



コスモス畑を見に行きました。

ちょっと早かったみたいです。

[»トラックバック\(0\)一覧](#)

伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

»プロフィール

記事カテゴリ

»記事

»キャンペーン

»料金表

»日記

»TOP

過去の記事

»2010年09月

»2010年08月

»2010年07月

»2010年06月

»2010年05月

»2010年04月

»2010年03月

»2010年02月

»2010年01月

»2009年12月

»2009年11月

»2009年10月

»2009年09月

»2009年08月

»2009年07月

»2009年06月

記事

時間

記事

公開日: 2009/09/09 19:56

何にも書くことが無いので、どうしようかなと考えながら、部屋でぼ～っとしています(´ρ`)沐-----

テレビを消すと、我が家は本当に静かです。

チャリで10分程走れば、松山市中心地に行けるような場所なのに、この静かな空間が手に入ることは、ありがたいことです。

涼しくなった秋の雰囲気の中にいると、時間がとてもゆっくりに感じられて、時間とかいうものが無いように思えてきます。

これが、本来の時間の流れなんだなあと気付かされます。

そういえば、時間も概念そのものなんです。

時間、時計を習うのは、小学校1年生とか2年生の頃だそうです。

6、7歳くらいから時計の見方を教えられて、概念の中で生きていくことになるんですから、もう社会人になったころにはどっぷり染み付いてしまっている訳です。

テレビを見ていても、決まったスピードで番組が進行して、CMが入って、その時間の流れがますます染み付いてしまいます。

昔は、テレビが部屋で消えていると、落ち着かない気分でした。

これは、概念の副作用かもしれません。

概念の副作用といえば、仕事を辞めた直後は、何もすることが無い生活に対して落ち着かない気持ちになりました。なんか、世の中から取り残されていくような強迫観念に襲われたもんです。

あれも副作用ですね。

仕事をしていることは、時間に追いかけられるような生活で、ノルマとか期限とかがありましたから。

現代は、インターネットに携帯電話に、便利になった分時間の流れはますます速くなっています。概念にますます縛り付けられるような気がします。

その縛りが外れると、しばらくは副作用が出るんですね。

これがなかなか消えない訳ですが、私は副作用も消えて、本当の時間の中に身を置くことができるようになりました。

o<-v->o。ピロ～ン

そういえば、ハウスメーカーで設計をしていたころ(10年くらい前)、昼食に職場の近所の洋食屋に行って、日替わりランチを頼んだのに、かなりの時間待たされて、1時間の昼休みが終わってしまうと腹を立てて、ランチが運ばれてくる前に店を出てしまったことがありました。

かなり怒っていました(笑)

時間という概念にかなり支配されていた頃です。

あの頃はトゲトゲしていたように思います。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

概念が強くなると、人の性格まで悪くしてしまうのかなと思います。
(お腹が減っていたのもイライラの原因でしょうが(笑))

ま、ゆとりというか、余裕が無くなるのは確かでしょうね。

建築も概念の塊ですから、それを設計する人も概念に支配されていくのは当然かもしれません。

自分に正直に生きることとか、正義とか、真っ直ぐに生きることこだわって、会社の利益が優先して住宅やお客さんが利益の為に利用されているように感じて、いろんな矛盾やジレンマでハウスメーカーを辞めました。

20代後半は、概念と向き合っていた時期だと今になって思います。

じゃあ、今はどうなったのかというと・・・。

»トラックバック(0)一覧

エプソン"公式"直販サイト

WEB限定クーポン適用で最大 約21%OFF 9月30日17時まで
shop.epson.jp

動画ダウンロードソフト

(無料)最新のRealPlayer SPなら 動画共有サイトの動画を保存できます
jp.real.com

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

~2006.5~2008.12の物件から選んだ写真です~

■久万の住宅

~伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています~

伊藤建築設計室公式ホームページ



伊藤建築設計室

<http://maglog.jp/110adr2/>

プロフィール



作者

伊藤 正孝

作者プロフィール

二級建築士事務所

愛媛県松山市で活動中です

E-Mail:

m110adr@hotmail.co.jp

メッセージを送る

[»プロフィール](#)

記事カテゴリ

[»記事](#)

[»キャンペーン](#)

[»料金表](#)

[»日記](#)

[»TOP](#)

過去の記事

[»2010年09月](#)

[»2010年08月](#)

[»2010年07月](#)

[»2010年06月](#)

[»2010年05月](#)

[»2010年04月](#)

[»2010年03月](#)

[»2010年02月](#)

[»2010年01月](#)

[»2009年12月](#)

[»2009年11月](#)

[»2009年10月](#)

[»2009年09月](#)

[»2009年08月](#)

[»2009年07月](#)

[»2009年06月](#)

記事

設計技術の伝承

記事

公開日: 2009/09/10 17:04



書籍“現代棟梁の設計技術”を読み始めました。

木造伝統構法について書かれた本です。

棟梁という言葉が本のタイトルに入っているの、大工さんが感覚的なことを書いているのかなと思ってしまいますが、中身はそうではなく、設計士が伝統構法を科学的に分析して、技術を根拠立てて説明しようとしています。

(限界耐力計算も出てきますが、今日のところはまだそこまでは読んでいません。)

そして、ただ伝統構法を推奨しているのではなくて、長年培われてきた技術を生かして、現代の技術と合わせて、よりよい木構造を造り出す為の情報にしようとしています。

まだ最初の数十ページしか読んでいませんが、設計士である著者が、伝統構法を誰でも設計できるように計算式などを提案して、根拠だてて説明しようという苦勞の跡が感じられます。

現代のように、パソコンとか計算技術が進歩して、検証ができるようになったわけですが、そんな技術が無い何百年も昔に、これだけの数学的な知識が使われていたのかと驚かされてしまいます。

そして、計算技術が進歩していても、検証にかなり手間がかかることから、昔の棟梁の凄さを感じます。

- »2009年05月
- »2009年04月
- »2009年03月
- »2009年02月
- »2009年01月
- »2008年12月
- »2008年11月
- »2008年10月
- »2008年09月
- »2008年08月
- »2008年07月
- »2008年06月
- »2008年05月
- »2008年04月
- »2008年03月
- »2008年02月
- »2008年01月
- »2007年12月
- »2007年11月
- »2007年10月
- »2007年09月
- »2007年08月
- »2007年07月
- »2007年06月
- »2007年05月
- »2007年04月
- »2007年03月
- »2007年02月
- »2007年01月
- »2006年12月
- »2006年11月
- »2006年10月
- »2006年09月
- »2006年08月
- »2006年07月
- »2006年06月

私がこの本を読んだからといって、何か生かせる訳ではありませんが、「設計には根拠が無ければいけない」という精神を学ぶことができます。

何気なく、「こんな感じ」と適当に角度やデザインを決めているように見えて、逆に言うと、角度やデザインを決めた根拠が簡単に説明できない複雑さで、根拠を理解できないからきっと適当なんだろうと思ってしまうのですが、実は全てに根拠があります。

なぜその寸法なのか、その角度なのか。

根拠をばっと見にはわからない程自然に見せることができたということです。

何百年も前の棟梁は、根拠をしっかり持って建築物を造っていたということです。

木造伝統構法の歴史の中で培われたものを受け継いで、現代のスタイルに合わせて、より良い木造建築を造ることができたらいいなと思います。

»トラックバック(0)一覧

みんなが喜ぶ家づくり

木の家なら当社にお任せください 自社設計士・自社工の
安心施工
www.taniguchi-koumuten.jp

3次元 盤構造設計

3次元CADの機能を習得しないで、制御盤の3次元構造設計を実現！
www.ace-cad.com

Ads by Google

ブログ内検索(b^-)

検索

お知らせ

ブログを見てくださる方へ
私のブログの動画を観る方法
登録読者限定の記事について
サイトポリシー

記事ピックアップ

■フォトギャラリー

～2006.5～2008.12の物件から選んだ写真です～

■久万の住宅

～伊藤建築設計室の全てがここに詰まっています～

伊藤建築設計室公式ホームページ

